

【抗議声明】

ロシア連邦大統領

ウラジミール・プーチン 殿

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する

ロシアは、ただちに軍事行動を中止し、ウクライナ領から撤退せよ

2022年2月25日

核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）

ロシアは、2月24日、ウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させ、ウクライナ各地の軍事施設やキエフ、オデッサなどへの攻撃を開始した。これは、国連憲章、国際法を踏みにじる行為であり、いかなる理由であれ許されるものではない。私たちは、ロシアによるウクライナ侵攻に対し、強く抗議する。ロシアは即刻、軍事行動を中止し、ウクライナ領から撤退すべきである。

今回のウクライナ侵攻という他国への侵略行為を決して許すことはできない。同時に、核戦争の防止、核兵器廃絶に向けて、取り組んできた私たちとして、見過ごすことが出来ないのは、2月19日にプーチン大統領が直接指揮した軍事演習において、核弾頭搭載可能な大陸間弾道ミサイルや極超音速ミサイルを発射していることである。さらには、2月24日に、プーチン大統領がテレビ演説で「ソ連崩壊で多くのものを失ったが、現代のロシアは世界で最も強力な核保有国の一つ」、「我が国を攻撃すれば、壊滅し、悲惨な結果になることに疑いない」と発言していることである。これは核兵器による威嚇そのものであり、核兵器の使用へとエスカレートしかねない危険をはらんでいる。

昨年1月に発効した核兵器禁止条約は、核兵器の使用はもちろんのこと、核兵器による威嚇も禁止している。

私たちは、核戦争の防止、核兵器の廃絶を願うすべての人々と連帯し、改めてロシアに対し、核兵器使用を前提とするような演習、核兵器の配備などのいかなる行動を行わないことを強く求めるものである。